

東京メトロ全路線に新型行先案内表示器を導入！

表示言語を日本語、英語の2か国語表示から中国語（簡体字）、韓国語を追加

8月5日（金）日比谷線霞ヶ関駅から順次導入開始、2019年度までに全駅設置

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：奥 義光）では、お客様がご乗車の際によりわかりやすく、安心してご利用いただけるよう、全線に新型行先案内表示器を導入いたします。

新型行先案内表示器は現行のLEDから液晶ディスプレイに変更することで、視認性を向上いたします。また、列車の行先や発車時刻だけでなく、列車の現在位置や停車駅、運行情報等より多くの情報を表示することが可能となりました。また、表示言語を、現行の日本語、英語の2か国語表示に、中国語（簡体字）、韓国語を追加し、海外からのお客様により分かりやすい案内をいたします。

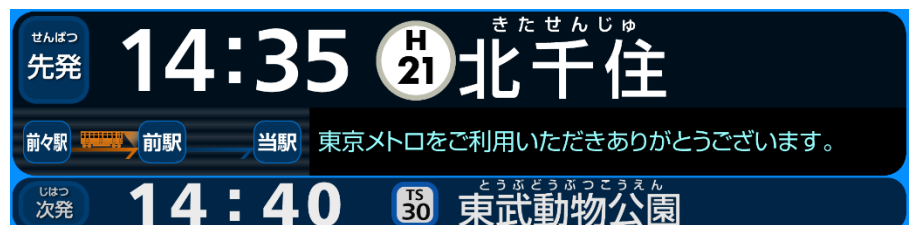
8月5日（金）に日比谷線霞ヶ関駅から導入を開始し、2016年度中に日比谷線、千代田線、半蔵門線の各駅で順次導入を進め、他路線の各駅も含めて、2019年度までに東京メトロ全線に設置を完了する予定です。

今後ご利用いただく国内外のお客様に対して便利でわかりやすい情報を提供してまいります。詳細は、別紙のとおりです。

【現行行先案内表示器】



【新型行先案内表示器イメージ】



新型行先案内表示器の導入概要

○特徴

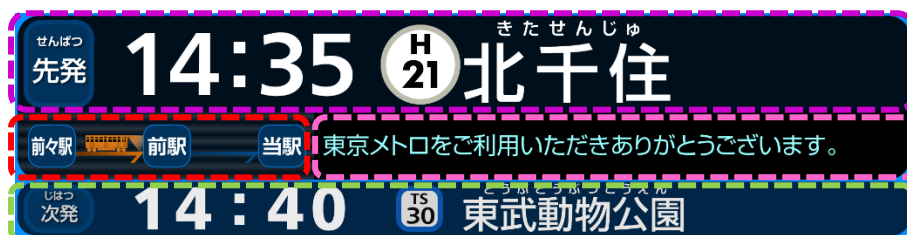
1 液晶ディスプレイ

表示デザインの自由度が高い液晶ディスプレイを使用することで、現在のLED表示器よりも多くの情報を表示することが可能となるとともに、視認性が向上いたします。

2 表示情報

列車の現在位置、各種ご案内と、次発列車情報を個別に設けることで、必要な情報を常に表示することが可能となります。

また、ダイヤ乱れ等の際は、運行情報を最下段に表示いたします。



- 先発列車情報エリア
- 列車在線エリア
- 各種ご案内エリア
- 次発列車情報エリア

【通常時】



- ダイヤ乱れ時情報エリア

【ダイヤ乱れ時】

3 対応言語

既存の日本語・英語に、新たに中国語（簡体字）・韓国語を追加した計4言語で順に表示いたします。



【英語】



【中国語（簡体字）】



【韓国語】

○今後の導入スケジュール

日比谷線、千代田線、半蔵門線は2016年度までに設置が完了し、銀座線、丸ノ内線、東西線、有楽町線、南北線、副都心線は2019年度までに設置を完了する予定です。